

菊川市立総合病院 看護部キャリアラダー

地域の人たちのために急性期から在宅医療まで質の高い看護提供をできる

菊川市立総合病院 看護部

		I	II	III	IV	V
看護の核となる実践能力	レベル					
	定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
	ニーズをとらえる力	目標 助言を得てケアの受け手や状況（場）のニーズをとらえる 行動目標 <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	ケアの受け手や状況（場）のニーズを自らとらえる <input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえたニーズをとらえる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性を踏まえ必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	ケアの状況（場）を統合しニーズをとらえる <input type="checkbox"/> 予測的な状況判断のもと、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる	ケアの状況（場）の関連や意味をふまえニーズをとらえる <input type="checkbox"/> 複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の価値観に応じた判断ができる
	ケアをする力	目標 助言を得ながら、安全な看護実践する 行動目標 <input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実践できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助が出来る <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助が出来る	ケアの受け手や状況（場）に応じた看護を実践する <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づき看護ケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることが出来る <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	ケアの受け手や状況（場）の特性をふまえた看護を実践する <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性に合わせて、適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫が出来る <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性をとらえ、看護実践に反映できる	様々な技術を選択・応用し看護を実践する <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的及び予防的に看護実践が出来る	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する <input type="checkbox"/> ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見（看護および看護以外の分野）を動員し、ケアを実践・評価・追求できる <input type="checkbox"/> 複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	協働する力	目標 関係者と情報共有が出来る 行動目標 <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することが出来る <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割が理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアに必要と判断して情報を関係者から収集することが出来る <input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談が出来る	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれ積極的に情報交換ができる <input type="checkbox"/> 関係者と密にコミュニケーションを取ることができる <input type="checkbox"/> 看護の展開に必要な関係者を特定できる <input type="checkbox"/> 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	ケアの受け手やその関係者、他職種と連携ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手とケアについて意見交換ができる <input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手がおかれている状況（場）を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる <input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出す連携に活かす <input type="checkbox"/> 複雑な状況（場）の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる <input type="checkbox"/> 多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる
意思決定を支える力	目標 ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る 行動目標 <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づける事が出来る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づける事が出来る	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定が出来る <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる <input type="checkbox"/> 法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を養護した意思決定プロセスを支援できる	
組織役割遂行	レベル	I	II	III	IV	V
	定義	社会人、組織人としての自覚をもち行動する 指導・助言を受けながら、組織の中でチームメンバーとしての役割を果たす	専門職業人・組織人として組織の中でチームメンバーとしての役割を果たす	所属部署で組織的役割を遂行する 看護チーム全体の状況を捉えて行動する 基本的な看護実践の指導や助言を行う	所属する部署で、特殊な能力を必要とされる役割、または指導的役割を遂行する	所属を超えて、看護部活動や施設全体、地域社会から求められる役割を遂行する
	専門的・倫理的・法的な実践する力	行動目標 <input type="checkbox"/> 社会人、組織人としての自覚を持ち行動できる <input type="checkbox"/> 自らの潜在能力や業務範を超える専門的な知識が必要な場合は、実地指導者に相談できる <input type="checkbox"/> 日本看護協会発行の「看護者の倫理綱領」を知っている	<input type="checkbox"/> 院内ルールを守って組織人として行動できる <input type="checkbox"/> 日本看護協会発行の「看護者の倫理綱領」を理解して専門職業人として行動できる	<input type="checkbox"/> 後輩育成の役割を自覚し行動できる <input type="checkbox"/> 所属する部署の目標を認識し、達成に向けた行動がとれる <input type="checkbox"/> 倫理課題に気づくことができ、相談できる	<input type="checkbox"/> 多職種に対し看護の視点から意見を述べることができる <input type="checkbox"/> 倫理的課題に対して倫理原則に基づいて状況判断し意思決定できる	<input type="checkbox"/> 専門職間で課題が発生した時に多職種を含めた調整的役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 倫理的問題が発生した時に多職種を含めた調整的役割を果たすことができる
マネジメントする力	行動目標 <input type="checkbox"/> 指導・助言を受けながら仕事に優先順位をつけ、時間を有効に管理できる <input type="checkbox"/> 院内災害対策マニュアルの存在を知っている <input type="checkbox"/> 医療安全及び感染対策マニュアルの存在を知っている <input type="checkbox"/> 災害時の避難経路が理解できる <input type="checkbox"/> 患者の搬送方法（担送・護送・独歩）が理解出来る	<input type="checkbox"/> 仕事に優先順位を付け、時間を有効に管理できる <input type="checkbox"/> 災害時に所属部署のアクションカードに基づいて行動できる <input type="checkbox"/> マニュアルを見ながら感染防止の手続き、安全対策を実施できる	<input type="checkbox"/> 仕事に優先順位を付け、時間を有効に管理できるように指導できる <input type="checkbox"/> 所属長の代行として夜間・休日の患者管理ができる <input type="checkbox"/> 災害時に所属部署のアクションカードに基づいて指示指導ができる <input type="checkbox"/> 患者におよぶ危険を予測し安全対策を指導できる	<input type="checkbox"/> 看護の専門性を発揮し、所属部署が効率的な看護実践を行えるよう時間を調整できる <input type="checkbox"/> 所属する部署で災害時にアクションカードの作成やその評価、見直しに参画できる <input type="checkbox"/> 所属する部署で定期的な災害訓練を計画・実施できる <input type="checkbox"/> 業務手順、マニュアル、チェックリストなどの改善に協力し役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 協力関係を維持して、効率的な職種横断的なチームワークに貢献できる	<input type="checkbox"/> 所属を超えて災害時のアクションプランの作成やその評価、見直しに参画できる <input type="checkbox"/> 所属を超えて定期的な災害訓練を計画し実施できる <input type="checkbox"/> 不測の事態や上虚の変化に対応し効果的に対応できる <input type="checkbox"/> 多職種や地域社会と協議できる <input type="checkbox"/> 健康を左右する多様な要因を考慮に入れて、全体的な視点から個人・家族・地域社会を捉えることができる	
自己教育・研究	レベル	I	II	III	IV	V
	定義	専門職としての学び方を身につける	自己の教育課題を見いだし取り組む態度や感情のコントロール 研究方法の基礎知識を身につける	自己の教育課題の達成に向け課題に取り組み、キャリアプランを立案する	自己のキャリアプランに沿って積極的に取り組む 教育活動について指導的役割を実践する	自己のキャリアプランに沿って学び続けることができる 自らの研究テーマについて研究活動を実践する
	自ら教育・研究する力	行動目標 <input type="checkbox"/> 指導・助言を受けながら、自らの実践を定期的に見直す事が出来る <input type="checkbox"/> 日々の看護実践に必要な知識について自己学習できる <input type="checkbox"/> 企画された集合研修に参加できる	<input type="checkbox"/> 自ら基本的な看護の実践を定期的に見直すことができる <input type="checkbox"/> 自主的に院内集合研修・講演会・発表会に参加する <input type="checkbox"/> 研究課題をみつけ研修を通し、まとめることができる <input type="checkbox"/> 感情について	<input type="checkbox"/> 自らの看護の実践を定期的に見直すことができる <input type="checkbox"/> 自主的に院内外の研修・学会・講演会に参加し実践に活用できる <input type="checkbox"/> 示唆を受けながら自分の課題をまとめ院内外に発表することができる	<input type="checkbox"/> 効果的な役割モデルとして行動できる <input type="checkbox"/> 所属部署で看護の提供において主導的役割を示すことができる <input type="checkbox"/> 役割モデルとして自らの実践を定期的に見直すことができる	<input type="checkbox"/> 看護実践発展の貢献において、またケア基準を改善する手段として組織的研究活動を実践できる <input type="checkbox"/> 看護及びヘルスケアの提供において多職種と連携し、看護の専門性を示すことができる <input type="checkbox"/> 専門領域や教育課題の達成に向けた学会に所属できる